

■SUBARU 環境保全自主取り組み計画

第6次環境ボランティアプラン（2017～2020年度）

【2】資源循環

領域	項目		2020年度までの目標・取り組み	2017年度
				目標
商品	リサイクル性の向上	◆自動車リサイクル法への対応を継続 ◆部品取り外し性・材料分離・分別性向上への取り組みを継続	◇新型車のリサイクル配慮設計を推進し、2020年リサイクル実効率95%に貢献	・リサイクル実効率95%以上を維持 ・リサイクル配慮設計の推進を継続
		◆CFRPリサイクル技術への取り組み	◇CFRP製品の易解体性に関する技術開発の推進	・易解体性を配慮した技術開発を推進
	ライフサイクルアセスメントの推進	◆ライフサイクルアセスメント(LCA)データの公開を推進	◇フルモデルチェンジ車からLCAデータの公開を推進	・モデルチェンジのタイミングで速やかにデータを開示する。 開示内容の充実を図る
生産	国内販売店・解体業者	◆処理困難物等の処理スキーム確立	◇リサイクルと適正処理の強化。	・処理・リサイクルの検討並びに実証推進
	生産工場	◆廃棄物の適正処理、発生量抑制の維持管理を継続	◇廃棄物の適正処理と、歩留まり向上・荷姿改善等による発生量抑制の維持管理を継続	・歩留り改善継続と発生数量の見通し把握と発生抑制維持管理
		◆国内外生産工場のゼロエミッションを継続 (直接、間接を問わず埋め立て処分量ゼロレベル)	◇国内外生産工場のゼロエミッションを継続	・国内外生産工場のゼロエミッションを継続
		◆国内外生産工場における水使用量を管理	◇国内外グループ企業を含めた、生産工場における水使用量を管理	・国内外グループ企業を含めた、生産工場における水使用量を管理